令和３年度　公益社団法人大気環境学会　事業報告

（令和３年７月１日～令和４年６月 30 日）

1. 会員の状況

種　別	令和３年６月 30 日	令和４年６月 30 日	差引増減（△）
正 会 員	746 名	721 名	△25 名
法人会員 A	120 名	116 団体	△４団体
法人会員 B	48 名	49 団体	１団体
学生会員	74 名	79 名	５名
賛助会員	16 団体（17 口）	15 団体（16 口）	△１団体(１口)

正会員数は、令和２年度は 18 名の減少であったが、令和３年度は 25 名の減少になった。

学生会員は、令和２年度は 26 名の増加であったが、令和３年度は５名の増加になった。

2. 年会報告

第 62 回大気環境学会年会を、令和３年９月 15 日（水）から９月 17 日（金）に開催した。新型コロナウイルスの感染状況が改善しないため、第 61 回年会に続いて対面での“オフライン”開催を断念し、初の本格的な“オンライン”年会として開催することとなった。参加登録は 367 名であり、内訳は正会員 229 名、学生会員 74 名、法人会員 A10 名、法人会員 B22 件、賛助会員 13 名、名誉会員１名、非会員 18 名であった。例年のオフライン年会に比べて 2-3 割程度少ない数ではあるが、当初の目標をいずれもほぼ達成することができた。また、本年会では自主企画となったものの、分科会は 10 件の企画（講演 30 件など）が実施された。本年会は、オンライン環境機器展（５社）、技術セミナー（８社）、バナー広告（９社）、企業 CM（５社）、プログラム集広告掲載（16 社・団体）、公開シンポジウム（１社）と多くの協賛を得て開催することができた。ご協力いただいた企業・団体の皆様に、心より感謝の意を表する。

3. 総会開催

令和３年９月13日に東京都新宿区山吹町 358-5　㈱国際文献社アカデミーセンター４階会議室を基地局とした Web 形式で令和３年度定時総会を開催した。審議および報告事項は以下の通りである。

１）令和２年度事業報告、収支決算報告および監査報告

米持真一常任理事より令和２年度事業報告があり、中井里史常任理事より令和２年度収支決算報告があり、大原利眞監事より監査報告がなされた。議長より質疑を求めた後、これらの報告を全員一致で決議した。

２）令和３年度事業計画および収支予算について

米持真一常任理事より令和３年度事業計画が報告され、中井里史常任理事より令和３年度収支予算の説明がなされた。事業計画および収支予算については、定款第 35 条により、事業年度開始前に理事会を開催し、既に承認されているため、本総会では事後報告であった。

３）名誉会員の推戴

伊豆田 猛会長より、小野雅司会員、河野吉久会員、柳沢幸雄会員、横田久司会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

４）第63回大気環境学会年会開催地

第63回大気環境学会年会を令和４年９月14～16日に、大阪公立大学中百舌鳥キャンパスを主会場とし、年会長を竹中規訓会員（大阪公立大学）として開催する予定であることが報告され、承認された。

５）第64回大気環境学会年会開催地

第 64 回大気環境学会年会は年会委員会で年会長および開催地などを検討中（関東支部を予定）であることが報告され、承認された。

4. 理事会等開催

4.1. 理事会

１）定例の会議の開催

第１回：令和３年８月 19 日　メール審議によるみなし決議（法人法第 96 条”理事会の決議の省略”適用）

審議内容：令和２年度事業報告、令和２年度収支決算、令和２年度監査結果、定時総会（2021 年９月 13 日）の案内、入退会希望者、「大気環境未来 60」応募事業、名誉会員の推戴等

第２回：令和４年６月 10 日　Web 会議

審議内容：令和４年度事業計画、収支予算、資金調達および設備投資見込、入退会希望者等の承認、令和４年度定時総会の開催方法と議案、理事選挙、名誉会員の推戴、役員の業務遂行報告等

２）令和２年度事業報告および収支決算の承認（第１回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。

３）令和４年度事業計画および収支予算の承認（第２回理事会）

それぞれ､原案の通り承認された｡この結果を受け令和４年６月 27 日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

４）名誉会員の推戴について

推戴の目安を見直した案が説明され、原案のとおり承認された。

4.2 常任理事会

１）定例の会議の開催

第１回：令和３年８月 11 日、第２回：令和３年 10 月８日、第３回：令和３年 12 月 17 日、第４回：令和４年５月 27 日（いずれも国際文献社を基地局とした Web 開催）

その他、適宜メール等により必要事項を協議した。

5.支部長会

令和３年度は開催なし。

6. 出版等

１）大気環境学会誌

第 56 巻４号～第 57 巻３号の計６号（電子ジャーナル）を刊行した。これに加え、第 56 巻１号～６号をまとめた POD 版（冊子体）を２月に発刊し、法人会員と賛助会員に配付した。

２）第 62 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）した。

３）日韓大気環境学会合同英文誌 AJAE（Asian Journal of Atmospheric Environment）Vol.15 No.3、No.4、Vol.16 No.1、No.2 を発行した。

7. 委員会開催

7.1. 倫理委員会

特に検討が必要な事項はなかったため、令和３年度は倫理委員会を開催しなかった。

7.2. 国際交流委員会

中国環境科学学会大気分会主催による日中韓共同国際ワークショップ「Urban Air Pollution and Its Impacts on Human Health and Climate Change」の企画運営に協力した（令和 3 年 11 月 24 日、Web 開催）。当該ワークショップにおいて、国際交流委員会から２名の委員が研究発表を行った。参加者約 30 名。

7.3. 学会賞選考委員会

令和４年５月 31 日を締め切りとして、令和３年度の大気環境学会賞の公募を行なった。学会賞選考委員会（令和４年６月７日、Web 会議）を開催し、各賞の選考を行い、選考結果を常任理事会に報告した。

7.4. 編集委員会（編集実務委員会）

１）定例の会議の開催

定例の会議を開催して学会誌の編集企画を行い、計６号（第56巻第４号～第57巻第３号）を刊行した。また、適宜メール審議により必要事項を協議した。

第１回：令和３年７月29日、第２回：令和３年11月29日、第３回：令和４年１月31日、第４回：令和４年１月31日、第５回：令和４年３月30日、第６回：令和４年５月26日

２）論文審査

令和３年度に投稿のあった論文等について、掲載可否の審査を行った。

３）入門講座等の企画・掲載

入門講座を企画、掲載した。また、あおぞら、支部・分科会だより、研究室紹介を掲載した。

４）その他

入門講座および解説のダウンロード販売を行った。

7.5. 論文賞選考委員会

大気環境学会誌第56巻およびAJAE第15巻に掲載された論文を対象に、編集委員による推薦（一次評価）と論文賞選考委員会における審査（二次評価）の２段階で選考した。

その結果を受けて論文賞選考委員会（令和４年５月24日）を開催し、授賞候補を常任理事会に報告した。

7.6. 広報委員会

前年度に議論した研究成果の社会還元のための広報活動、会員増強のための広報活動、次世代研究者確保のための広報活動、関連他学会との連携と差別化等の具体化に向けて検討を行った。

企画運営委員会および産官学民連絡評議会と連携して、化学物質過敏症、マイクロカプセル香害に関する社会

的関心が高まっていることから「かおりと健康被害」に関する講演会の企画を検討した。

7.7. 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

広報委員会との連携として、化学物質過敏症、マイクロカプセル香害に関する社会的関心が高まっていることから「かおりと健康被害」に関する講演会の企画を検討した。現在、「民」として日本消費者連盟・平賀氏に「香害という公害～日常を脅かす化学物質汚染～」という演題でご講演の承諾を得ている。

7.8. AJAE 委員会

韓国大気環境学会と協力して AJAE（Asian Journal of Atmospheric Environment）Vol.15 No.3、No.4、Vol.16 No.1、No.2 を発行した。

7.9.「大気環境未来 60」募金委員会

令和４年６月 30 日を締め切りとして、令和３年度の「大気環境未来 60」募金を活用した事業の公募を行い３件の応募があった。

7.10. 年会委員会

年会委員会を５回（令和３年７月 12 日、 9月６日、10 月 15 日、令和４年１月 19 日、 5月 19 日）開催し、第 63 回年会の円滑な運営と第 64 回年会の準備について検討した。また、奥田委員長が第 63 回大気環境学会開催のための委員会に出席した（令和３年７月 30 日、12 月 22 日、令和４年３月 15 日、3月 25 日、４月 26 日、 5月 11 日、 5月 17 日、 6月 24 日）。

7.11. 地方環境研究所等委員会

随時メール審議により地方環境研究所の学会活動の活性化案について議論し、初心者向け講習会企画等の検討を行った。

8. 支部報告

8.1. 北海道・東北支部

１）支部総会、幹事会：令和３年 10 月 29 日（東北工業大学、Web 同時開催）

①支部総会：令和２年度支部活動報告および決算報告、令和３年度の活動方針と予算案の承認。次回支部総会の開催地の決定（参加者 21 名）。

②幹事会：支部規約の改定の審議と承認（参加者 12 名、うち委任状 5 名）。

③研究発表会（総会と同会場）一般研究 12 題、講演 2 題、参加者 39 名。

２）支部ホームページ（https://sites.google.com/site/jsaehokkaidotohoku/）に関連資料をアップ。

8.2. 関東支部

１）支部総会：令和４年６月３日（ムーブ町屋）

令和３年度支部・部会活動報告、令和３年度中間会計報告、令和４年度予算案、令和４年度活動計画案、参加者 143 名（うち委任状 118 名）。

２）支部役員会：第１回役員会（令和３年 11 月９日：Web 開催）、第２回役員会（令和４年１月 27 日：Web 開催）、第３回役員会（令和４年３月 28 日：メール審議）、第４回役員会（令和４年５月 24 日：Web 開催）。

３）支部講演会：令和４年６月３日（ムーブ町屋）

テーマ：「温暖化対策『カーボンニュートラル』における温室効果ガスの吸収源」、講演３件、参加者 46 名。

４）部会活動報告（順不同）

５つの部会が以下の活動を行った。

① 大気沈着部会

講演会「第 33 回酸性雨東京講演会（共催：酸性雨分科会）」の開催：令和４年６月 16 日（Web 開催）、テーマ：「大気－森林間の炭素および窒素交換」、講演２件、参加者 34 名

② 粒子状物質部会

講演会（共催：関東地方大気環境対策推進連絡会微小粒子状物質調査会議）の開催：令和４年３月 18 日（Web 開催）、講演５件、参加者 96 名

③ 植物影響部会

講演会（共催：植物分科会）の開催：令和４年１月 18 日（Web 開催）。講演１件、参加者 20 名。

④ 大気質調査部

オンラインによる講演会を検討したが、令和３年度の開催に至らなかった。

⑤ 科学コミュニケーション部会

研究会・ワークショップ等の企画を検討したが、令和３年度の開催に至らなかった。

8.3. 中部支部

１）評議員会：令和３年 12 月 11 日～12 月 17 日（メール審議）

議題：令和３年度中部支部総会へ提出する議題・資料について。

２）支部総会：令和４年１月 11 日（Web 開催、委任状含めて参加者 40 名）

議題：令和２年度の事業報告・決算報告・会計監査の報告、令和３年度事業経過報告、令和３年度決算見込みについて、令和４年度事業計画・予算、支部役員の選挙方法について（支部規約の改正）、その他。

３）公開講演会：令和４年１月 11 日（Web 開催）特別講演２件、レビュー講演１件、参加者：80 名以上）

8.4. 近畿支部

１）支部総会・シンポジウム：令和３年７月 30 日（大阪府大 I-site なんば・Web 同時開催）

令和２年度事業報告ならびに収支決算報告、令和２年度委員会・部会活動報告、令和３年度事業計画ならびに予算案、支部規約の改正の承認。

シンポジウム：「マイクロプラスチック研究の最前線」、講演３件、参加者 75 名（対面 19 名、Web56 名）

２）理事会・運営幹事会：令和３年７月 30 日（第１回、大阪府大 I-site なんば・Web 開催）、令和４年１月 31 日（第２回、大阪大オープンイノベーションオフィス・Web 開催）。

３）委員会・部会活動

① 学術委員会：大気環境学会近畿支部研究発表会：令和３年 12 月 27 日（大阪府大 I-site なんば）、一般発表 21 件、特別講演１件、参加者 43 名。

② 情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営。

③ 気象拡散部会講演会：令和４年５月 17 日（大阪公大 I-site なんば）

テーマ「大気拡散研究におけるモデリング技術の現状とこれからを考える」、講演３件。

④ 反応と測定部会・エアロゾル部会・植物影響部会合同講演会：令和４年５月 16 日（大阪府環農研・Web 開催）

テーマ「植物起源 VOC・エアロゾル・オゾンの生成と反応」、講演３件。

⑤人体影響部会セミナー：令和４年６月 23 日（Web 開催）

テーマ「空気環境における新型コロナウイルス感染症対策の最適点を探る」、講演３件。

8.5. 中国・四国支部

１）支部総会：令和４年５月 28 日～６月５日（支部ホームページへの資料掲載による開催）

令和３年度事業報告・収支決算報告および令和４年度事業計画・予算計画について。

２）大気環境学会・日本水環境学会・廃棄物資源循環学会中国・四国支部合同講演会

新型コロナウイルス感染症の影響によって中止。

３）支部ニュースレター

令和４年３月、４月、５月、６月の４回配信。

8.6. 九州支部

１）支部総会：令和４年３月７日～３月 10 日（メール審議）

令和２年度事業実施報告および収支決算報告、令和３年度事業計画および予算、九州支部役員の交代。

２）支部役員会：令和４年３月２日～３月４日（メール審議）

令和２年度事業実施報告および収支決算報告、令和３年度事業計画および予算、九州支部役員の交代。

３）支部研究発表会：令和４年３月 11 日（Web 開催）

室内環境学会九州支部と合同で研究発表会を開催。演題７件（大気環境３件、室内環境４件）、参加者 36 名。

9. 分科会等報告

9.1. 植物分科会

１）総会の開催（誌上開催）：令和３年９月 21 日～９月 28 日（意見募集期間）

2）講演会の開催（関東支部植物影響部会との共催）：令和４年１月 18 日（Web 開催）講演１件、参加者　24 名。

3）講演会の開催（関東支部植物影響部会との共催）：令和４年４月 22 日（Web 開催）テーマ：「SDGs と植物」、講演４件、参加者 26 名。

4）世話人会議　令和３年 10 月 14 日、令和４年２月 17 日、４月 22 日。

9.2. 大気環境モデリング分科会

１）年会分科会：令和３年９月 14 日（第 62 回大気環境学会年会、Web 開催）

テーマ「今後の光化学オキシダント対策に向けた現状整理、課題、方向性について」発表４件。

研究集会「第５回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」を共催（主催：九州大学応用力学研究所全国共同利用研究集会）。発表 13 件、参加者 44 名。

9.3. 酸性雨分科会

１）年会分科会：令和３年９月17日（Web開催）

テーマ：「反応性窒素と、その生態系影響」、講演２件、参加者57名。

2）第33回酸性雨東京講演会（関東支部大気沈着部会、酸性雨研究会との共催）：令和４年６月16日（Web開

催)、テーマ：「大気－森林間の炭素および窒素交換」、講演２件、参加者34名。

３）メールニュースの発行

479号～481号まで12回発行（メール会員238人・令和４年６月３日現在)。

9.4. 環境大気モニタリング分科会

１）講演会（第 48 回研究会)：令和４年３月８日（Web 開催）

テーマ：「モニタリングデータを活用した健康影響の評価」、講演３件、参加者 80 名。

２）幹事会

令和３年 12 月 16 日：第 50 回研究会の企画、テーマ、構成について検討した。

令和４年４月 27 日：年会分科会の企画、テーマ、構成について検討した。

9.5. 健康影響分科会

１）年会分科会：令和３年９月 17 日（Web 開催）

テーマ：「大気粒子状物質の健康影響を反映する指標の探索と発生源の推定」、講演３件、参加者 69 名。

２）年会公開シンポジウム（大気環境学会、室内環境分科会との共催)、令和３年９月 16 日（Web 開催）

テーマ：「COVID-19 と大気環境」、講演７件。

9.6. モビリティ環境分科会

１）年会分科会：令和３年９月 15 日（Web 開催）

テーマ「脱炭素社会を目指す政策とモビリティ環境の変化」、講演４件、参加者 56 名。

２）講演会（都市大気エアロゾル分科会との合同講演会および東京電機大学と東京大学の合同公開ゼミ)：令和４年６月 21 日（Web 開催）

テーマ：「PM2.5 の現状と新たな自動車排出ガス規制」、講演３件、研究発表７件、参加者 96 名。

9.7. 室内環境分科会

１）年会分科会：令和３年９月 17 日（Web 開催)

テーマ：「芳香と生活環境」参加者 21 名。

２）セミナー（関西支部人体影響部会との共催)：令和４年６月 23 日（Web 開催）

テーマ：「空気環境における新型コロナウイルス感染症対策の最適点を探る」、講演３件、参加者 30 名。

３）その他

令和２年５月 22 日に予定していた公開講演会（テーマ「加熱式たばこの現状と研究動向」）については新型コロナウイルス感染拡大のため、告示直前の令和２年３月末に延期決定し現在も延期中。Web 形式で集会やセミナーに向けた打合せを実施（６回)。

9.8. 放射性物質動態分科会

１）年会分科会：令和３年９月15日（Web開催）

テーマ「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性ヨウ素の実態」、参加者26名。

２）「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能大気環境汚染―これまでとこれから―」を執筆し、出版を検討中。

9.9. 臭気環境分科会

１）年会分科会：令和３年９月 14 日（Web 開催）

テーマ「畜産農業における悪臭対策～最新の技術開発動向と現場での優良対策事例～」、講演３件、参加者71 名。

２）大気環境学会誌おすすめ図書原稿執筆。

9.10. 都市大気エアロゾル分科会

１）年会分科会：令和３年９月 21 日（Web 開催）

テーマ「成分データによる PM2.5 の実態解明と疫学やモデル研究への展開」、講演４件、参加者 82 名

２）講演会開催（モビリティ環境分科会と合同講演会および東京電機大学と東京大学の合同公開ゼミ）：令和４年６月 21 日（Web 開催）

テーマ「PM2.5 の現状と新たな自動車排出ガス規制」、講演３件、発表７名、参加者 96 名。

9.11. 気候変動研究会

１）コロナ禍のため年会等での研究集会は行わなかった。

大気環境学会誌の入門講座「温暖化適応策」の構成などについて助言を行った。

令和３年度事業報告には、「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

令和４年８月

公益社団法人　大気環境学会